

黄成恵さん（揚子江店主）

矢崎泰久の友達紀行⑧



『話の特集』を創刊して間もない頃に、高級中華料理店の「樓外樓」が、原宿に支店を出した。セントラル・アパートの斜向い^{はすむか}。

対談や座談会を個室でやるようになった。若い支配人の黄さんが直接面倒を見てくれる。当時まだ30前だから、40数年前のことだ。

フランソワ・トリュフォー監督が来日して、山田宏一さんと対談をしてもらった。和田誠さんと私も同席したが、料理を選んでくれたのは黄さんだった。トリュフォー氏が舌鼓を打って全部食べたのが今も眼に浮かぶ。

実は黄さんは横浜中華街で生まれ、幼い頃から母親から料理を教えられて育った。それは中国の家庭料理で伝統的な絶品だった。自分の店を持つのが黄さんの夢でもあった。

永六輔さん、中山千夏さんと私はやがて独立した黄さんの追っかけになる。彩威門（六本木）、八彩苑（井草）、三洗園（横浜）と移り、桜木町に揚子江を開店、11年前に現在の馬車道に母親と二人きりの店を黄さんは作る。座れば、後は黄さん任せ。昔話に時を忘れる。

文 矢崎泰久 Yasuhisa Yazaki

1933年東京生まれ
新聞記者を経て1965年『話の特集』創刊
現在はフリージャーナリスト作家。
著書に「口きかん」（飛鳥新社）『話の特集』と仲間たち（新潮社）
「あの人がいた」（街から舎）『句々快々』（本阿弥書店）
「バカまるだし」「ふたりの品格」（共に永六輔と共著、講談社）
「人生は喜劇だ」（飛鳥新社）他多数。
テレビ・映画・ステージのプロデューサーとして活躍。

写真 小山茜 Akane Koyama

1981年大分県生まれ
写真家。国内外で幅広く活躍。
2015年パリ・マドレーヌ寺院「恒久平和展」展示
2016年「第10回モナコ・日本芸術祭2016」展示
芸術創造賞受賞
常識にとられない映像作家。
多岐にわたる撮影活動を続けている。